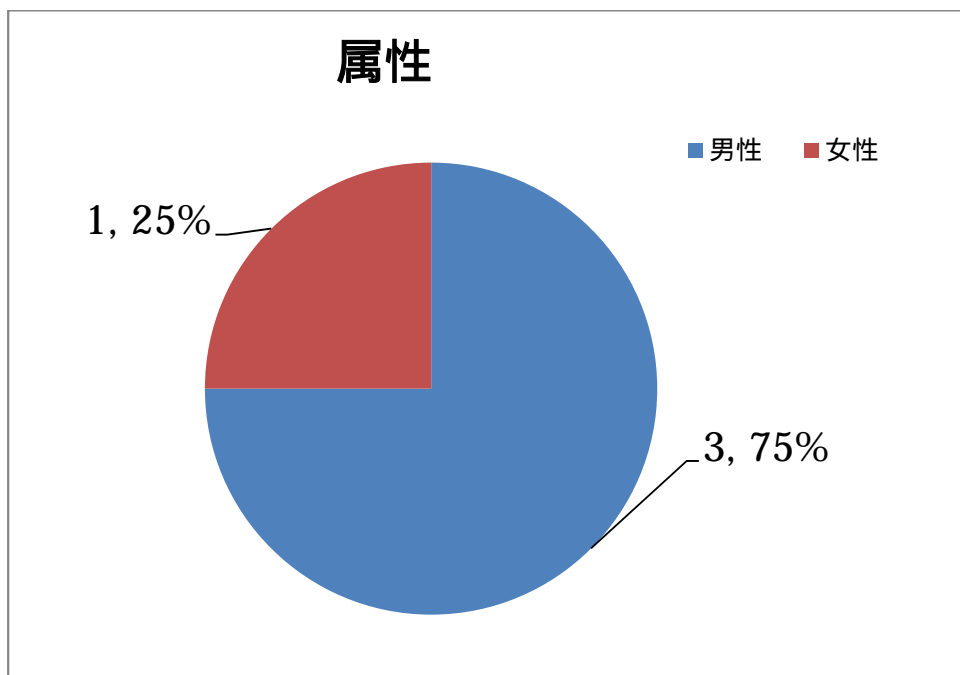


1 日時：平成 29 年 8 月 26 日（土）～平成 29 年 9 月 23 日（土）

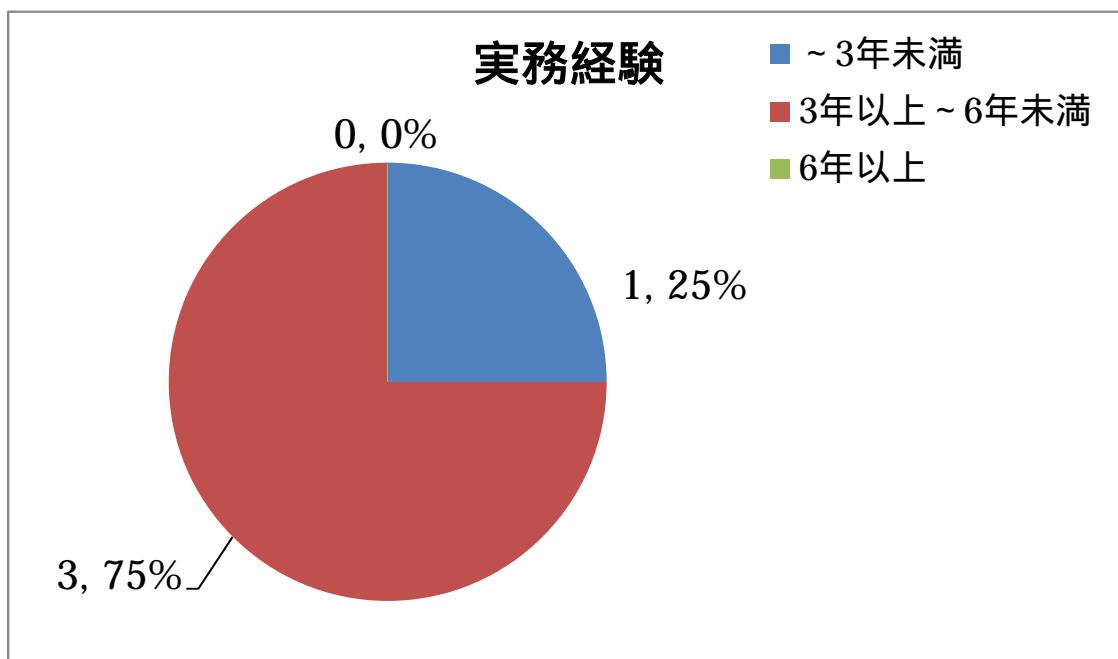
9：00～17：05（1日9時間）

2 場所：金城大学社会福祉学部棟 101教室 102・103特別教室

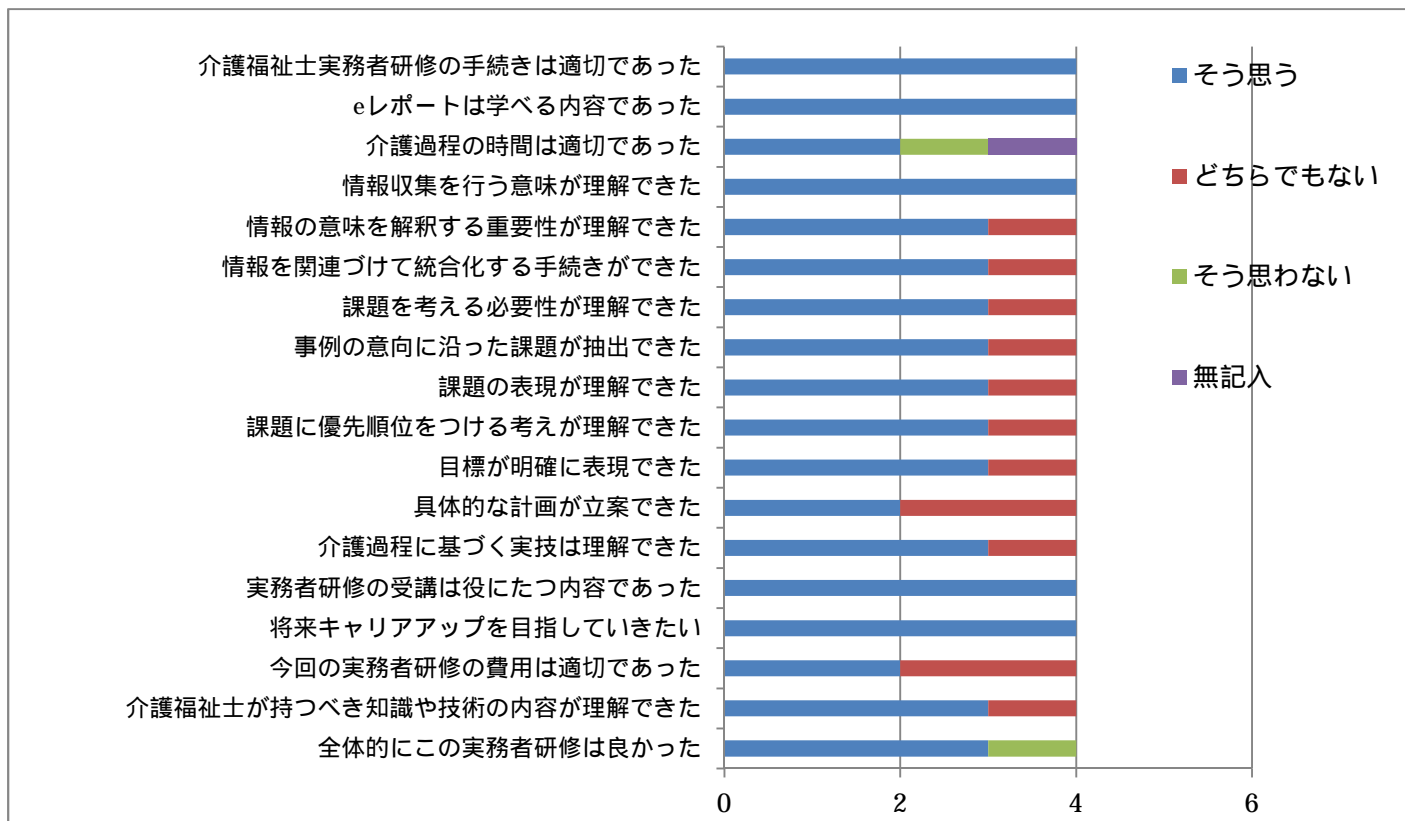
3 介護過程スクーリング後のアンケート結果



属性：男性 1 人 女性 3 人



実務経験 3 年未満 1 人 3 年以上～6 年未満 3 人



4 自由意見

パワーポイントで実習・学習する機会があれば良かった

介護演習で、最初に個人ワーク、グループワークするよりも、まず最初に実際にやって見せて（演習させてから）グループワークの方が良いような気がしました。

5 医療的ケア演習の受講者感想

医療的ケアでは初めてのことが多くて、戸惑うことも多々ありましたが教材や付いているDVDをみて、スクーリングではモデル人形で実際に流れを実施してとても自分のためになりました。実務者研修を受け、実際に現場でやっていることの基礎を学ぶことができ自分の身につきました。



平成29年10月28日（土）

医療的ケアの口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部の喀痰吸引の演習を体験しました。真剣な表情で演習に取り組んでいました。

6 担当者から

介護過程のスクーリングでは主に介護の考え方をしっかり学んでほしいと思います。そのためには、自分の考えを発表し他の人の考えを聞いて学びに結びつけて行く過程が大事です。演習では原則介護の根拠を明確にして職場でも介護の展開が出来るためのワークを行っています。何も考えない、場当たりの介護は利用

者にとって不幸です。本学では、基本的な考えが出来るために、多くの演習を取り入れ受講者同士の意見交換をして視野が広がるようにしています。技術ありきではなく、何故このことが必要なのかは継続した事例を通して進めることで、より考えが深まることを期待しております。これから国家試験に挑戦されると思いますが勝利されることを願っております。